食物アレルギー発症時の緊急対応マニュアル



発見者 • 担任

※児童から離れない

- 隣のクラスへ連絡する 「隣のクラスの先生よんできて」
- ・誤食した食物や量、時間の確認
- ・児童を保健室へ連れて行く
- ※内服薬・エピペンがあれば持参

※2人以上で対応する

養護教諭・教職

- 児童の健康状態を把握
- ・記録(観察開始、エピペン使用、 内服薬使用、症状を記録)
- 応急処置
- 主治医に連絡し指示を受ける



- ・必要に応じて薬の服用(薬を持参している場合)
- ※S・Rの内服薬は保健室の冷蔵庫内
- ・必要に応じてエピペンを打つ
- ※一人では絶対に行わない
- ※基本的には児童本人が打つ
- それができない状況の場合は、管理職・養護教諭・教職員

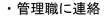


病院搬送・付き添い

~初期の対応~

- 原因物質が皮膚についたとき→洗い流す (さわった手で目をこすらない)
- ・眼の症状→洗眼
- ・原因物質を口に入れたとき→口から出させ、口をすすぐ

隣のクラスの担任



・該当クラスの児童管理

担任·教職員

保護者に連絡

※項目は下記参照



管理職

教育委員会

江戸川区立大杉東小学校

- ・現場に到着次第、リーダーとなる
- 救急車の要請
- AEDの準備
- ・心肺蘇生やAEDの使用
- エピペンの使用または介助
- ・職員への対応指示
- 全体の状況把握



栄養士

- ・アレルギー対応状況報告(配膳・提供 等)
- ・調理員への除去食対応確認

~保護者への連絡~

- ・状況の報告
- ・主治医へ連絡すること、救急車を呼ぶことの了解
- エピペンを投与することの了解
- ・保護者の来校が可能かの確認(不可能な場合、代わりに来られる方への連絡を入れてもらう)
- 救急搬送先を伝える
- ・搬送先へ保護者が来ることが可能かの確認(不可能な場合、代わりに来られる方への連絡を入れてもら

